



AJRL NETWORK

Association of Japanese Residents in LAO P.D.R.

2013 年度もチャリティーバザー収益金寄付贈呈を行いました

毎年恒例の日本人会バザーでは、収益金の半分を日本語補習校に、残りの半分をラオスの小学校等に寄付してきています。去る3月20日、2013年度バザー収益金を活用し、ビエンチャン郊外にある2つの小学校に対して、サッカーボール、バドミントン等の運動用具、ノートや色鉛筆等の文房具を贈呈して参りましたので、これを報告します。寄付額は、2校合計で約300USD相当です(内訳詳細は2013年度総会資料6をご参照下さい)。

ビエンチャン街中より車で50分ほど北東にいったところに、大きな川があり、この川を小さな筏風のフェリーに車ごと乗って対岸にわたると、ビエンチャンの郊外とは思えない集落がありました。この集落の中に、今回贈呈した対象のラオスの小学校2校がありました。一校あたり年間の活動予算は、昨今の財政難が原因なのか、ほとんどないとのことでした。村長や先生のみなさんからは、今回の寄付に対して深い謝意が表明されました。また、熱心に授業を受けていた生徒さんは、サッカーボールや色鉛筆を見に集まり、みんな揃って「サバイディー」と笑顔であいさつをしてくれたのが印象的でした。

ラオスの子供達が、少しでも良い環境で勉強をし、校庭で色々なスポーツを楽しむことができるよう、日本人会としてこれからも協力していければとの思いを新たにしました。

バザーにご協力いただいた日本人会及び補習校関係者みなさま、また、今回の文房具等配布にあたりご協力を賜りましたJICAラオス事務所及びJICA専門家のみなさま、本当にありがとうございました。

(日本人会会長 ラオス日本センター 木下 俊夫)



写真-1 車に乗ったまま川を渡る筏風フェリーの風景。



写真-2 最初に訪問した Thadindengneua 小学校の村長、先生、生徒と一緒に。



写真-3 2 番目に訪問した Thadindengtai 小学校の村長に贈呈。

本号内容

- (1) チャリティーバザー収益金寄付贈呈
- (2) 賀詞交換会
- (3) 雑煮会
- (4) 補習校便り
- (5) 大使館からのお知らせ
- (6) NGO・国際機関紹介
- (7) JICA ボランティア活動紹介
- (8) ビエンチャン懇親テニス大会
- (9) 武道センター
- (10) 日本人会のイベント
- (11) ゴルフ愛好会
- (12) 賛助会員
- (13) 会員投稿
- (14) 編集部より

賀詞交換会

1月10日(金)、日本国大使館、ビエンチャン日本人商工会議所との共催で、日本国大使公邸にて賀詞交換会を開催しました。

日本人会では特に餅つきを担当し、出席された方々にお正月気分を味わっていただきました。



雑煮会



1月25日(土)、日本語補習校との共催で、今年は雑煮会を催しました。

会場は補習校の教室でもある Vientiane International School 向かいの Don Hakku Dern Restaurant。フットサルコートも備える開放的な雰囲気の中、補習校の授業を終えた子供たちとともに、皆で杵を握って餅つきを体験、つくたてのお餅を安倍川にしたりあんころ餅にしたり、お雑煮以外にもいろいろな楽しみ方で味わいました。



餅つき機が普及し、臼と杵で餅をつく機会は日本でもなかなかない昨今ですが、この日は子供も大人も杵の重さと餅の感触を楽しんでいました。お腹いっぱい食べたあとは、残ったお餅をお土産に持って帰り、自宅でも久々のお餅料理を楽しんだことと思います。



補習校便り

日本人会の皆様、今年度最後の補習校便りとなりました。皆様からのこの一年間の多大なご支援に感謝申し上げます。今回は、2月15日に行われた課外授業の様子についてご報告したいと思います。

今回の課外授業では「自然界のしくみ」という、私たちの身近にありながら、普段、全く気に掛けていない世界についての勉強です。講師を引き受けて下さった久貝先生の待つ国立ラオス大学へ保護者、補習校教師を含め35名の参加者が伺いました。

参加者は、久貝先生に暖かく迎えられ、まずは自然界に関する説明をして頂きました。「微生物」、「食物連鎖」など低学年の子供達には初めて聞く言葉もありましたが、先生は植物が私達の生活にとっていかに大切なものであるかということを手際よく教えて下さいました。

説明の後、いよいよ待ちに待った「自然観察」の探検に出発！いつも気にしないで見ていた景色の中に、いろいろな植物や昆虫が生活していることに改めて感動しながら、久貝先生の用意してくれたプリントの中から自分で見つけた植物の名前を一つ一つ確認していきました。



触るとなぜか葉を閉じる“オジギソウ”、他の植物に絡み付いて成長するちょっと怖い寄生植物“アメリカネナシカズラ”、葉の汁を傷口につけると血が止まる不思議な“チドメグサ”など、生徒達は目を輝かせながら、いろいろな植物を発見していきました。また、一つ一つの花の色も記録していきました。先生が、「どの色の花が一番多かったですか？」と尋ねたところ、「赤」と言う意見が多数をしめました。



観察会の終点は大きなタマリンドの木でした。先生は生徒を木の下に座らせ、「目を閉じてみてください。」と言うと、「この木が何と言っているか考えてごらん。」と尋ねました。最初は戸惑っていた生徒達も「木は『うるさいな～、静かにしてくれよ！』と言っています。」とか、「木は『一緒に遊ぼうよ』と言っています。」とか、「木は『あなた達はどこから来たの？』と尋ねています。」など、さまざまな意見が出され、授業は大変盛り上がりました。先生と保護者は子供達の想像力の豊かさに大変驚かされました。そんな楽しい課外授業はあっという間に終わりました。久貝先生、楽しい授業本当にありがとうございました。



最後にちょっと余談ですが、久貝先生から「日本で一番多い花の色は何か調べてください。」という宿題を頂きました。日本人会の皆様は何色が一番多いと思いますか？私がインターネットで調べたところ「白」ということでした。

(補習校担当理事 松山)

大使館からのお知らせ

1. 在留届の提出

海外での生活中、事件・事故や思わぬ災害に巻き込まれた場合、また、大規模な事故や災害等が発生した場合、大使館では、在留届によって日本人被害者の有無等を確認しています。また、大使館では、「緊急連絡」及び「お知らせ」を在留届に記載されたEメールアドレスにお送りしますので、当国に3ヶ月以上滞在する日本人の方は、大使館に「在留届」を提出するようにして下さい。

また、在留届を提出した方で、帰国、住所変更等があった場合には、大使館まで変更届を提出して下さい。

なお、在留届は、インターネット及び大使館に来館して提出することが出来ます。

* インターネットの場合には、次のURLにアクセスして下さい。

<http://www.ezairyu.mofa.go.jp>

2. 在外選挙人証の取得

在外選挙投票のためには、在外選挙認証の取得が必要です。次の条件を満たしている方は、在外選挙認証の申請が出来ますので、大使館で手続きを行って下さい。なお、申請から在外選挙認証受領までには2ヶ月程度を要します。

(1) 登録資格

* 日本国籍を有する成人であること。

* 住民票が日本国内にないこと。

* ラオス国内に3ヶ月以上居住していること。

(居住から3ヶ月経過していなくとも、申請の受理は可能です。)

(2) 必要書類

* 在外選挙認証登録申請書(大使館にあります)

* 旅券

* ラオス国内に居住していることを証明する書類

NGO・国際機関紹介

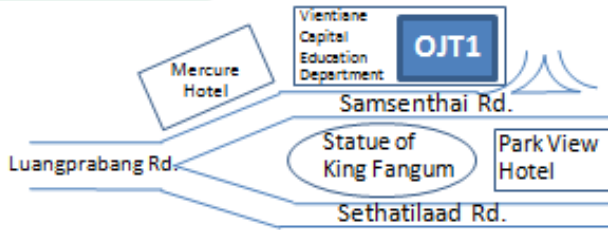
IV-Japan

IV-Japan はラオスで十分な教育を受けられなかった若者の自立支援を目的に、調理・美容・縫製・木工の分野で職業訓練を行っています。主に職業技術を身につける5ヶ月間の初級・中級の訓練を終えた生徒たちは、6ヶ月間の上級コースでOJTショップ(実地訓練用店舗)にて、実際に一般のお客様を相手に接客対応や経営手法を身につけていきます。OJTショップのレストランでは日本食やラオス料理を、美容室ではヘアカットからネイル、マッサージ(全身、足、フェイス)を、ブティックではオーダーメイドの仕立てやすそ上げなどのちょっとしたお直しを、リーズナブルなお値段で提供しております。在住日本人の皆様には日頃より当会職業訓練校をご利用いただき、この場を借りて厚く御礼申し上げます。引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



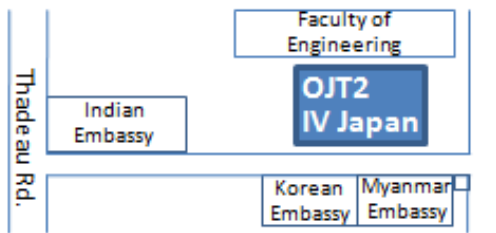
また、2011年12月からJICA草の根パートナー事業として、上級コースの運営体制の構築と人材育成、職業訓練カリキュラムと教科書の作成に取り組んでいます。その他にラオス教育省と一緒に、職業訓練の全国展開を支援すべくラオスの地方各県における初級・中級職業訓練校の設立やそこで教えるトレーナーの養成も同時に行っています。ラオスでは職業訓練や高等技術教育の整備もまた遅れており、今後の経済発展にともない拡大する労働需要に応えられる人材の育成が急務です。当会は引き続きラオスの若者の精神的・経済的な自立支援に尽力して参ります。

OJT Shop1



km2, Samsenthai Rd. Vientiane
TEL: 0305700891 Open: 8:30am - 5:00pm

OJT Shop2



Vocational Education Development Center,
Lao-Thai rd. Watnak village, Sysattanak District
TEL: 0305704439 Open: 8:30am - 5:00pm

JICA ボランティア活動紹介

私が活動するのは、ラオス北部の都市ウドムサイ県産業商業局が運営する PMC(Productivity and Marketing Center)というスタッフ3人の小さな機関です。その主業務は、ハンディクラフト製品の小売・卸売業で、クズやシナといったラオスでも稀少な現地特産品を素材に用いたバッグを主力商品にしています。また、県内で採れる綿花を手紡ぎ、手織り、そして天然染色で仕上げたコットン製品も人気があります。これら特産品のマーケティング活動が、私に期待されている活動内容です。

ラオス北西部に位置するウドムサイ県は、かつて麻薬用のケシ栽培が盛んに行われてきた地域です。PMC は、伝統のハンディクラフト製品の販売を通して、ケシ栽培をしてきた人々の代替収入源の確立という役割も担っています。つまり、私の活動の頑張りや、多くのお客様に来てもらい商品を購入してもらうことができれば、農村部の人々の現金収入向上につながっていきます。

しかし、私は活動の中で、「村落援助」という言葉で商品を売りつける必要はないと考えています。「村落援助」と言うと、

「かわいそうだから買ってあげる」というイメージがついて回ります。PMC で扱う商品は、たしかに村落援助に貢献もしますが、製品それ自体でもお客様に満足いただけるものだと感じています。効率化を目的にした大量生産が進んだこの世界で、自然にこだわった素材、機械に頼らない技術、受け継がれてきた伝統、これらは非常に稀少で価値があり、デザインの面でも優れています。今はまず、その商品の良さや存在を知ってもらうことから活動を始めています。

現在 PMC は、販売力が弱く、売上が伸び悩んでいるという課題を抱えています。私は、前職は金融機関に勤め、多くの日本の事業主の方の工夫を目にしてきました。ラオスの良さが詰まった商品を、日本の経験とうまく結び付けて、販売活動を進めていきたいと思っています。

これら PMC のラオスらしい商品の販売を通して、ラオスらしい開発の道を探っていきたいと思っています。皆様も北の街、ウドムサイにお越しの際は、是非、PMC にお立ち寄りくださり、伝統のハンディクラフト製品にお目通しいただければ幸いです。

筆者:新井貴久(あらいたかひさ)、コミュニティ開発の職種でウドムサイ県産業商業局にて、2013年10月~2015年9月まで活動中。



PMC 販売所での筆者

ビエンチャン懇親テニス大会

日韓友好テニス大会開かる

ラオス在住のテニス愛好家が懇親目的のテニス大会を3か月に一度のペースで、実施しています。始めたのは10年ほど前で、当初は日本人会の有志のイベントでした。現

在は会員以外の方も、また日本人以外の方も参加されています。

その日のために毎週のように練習に励んでいます。この練習には日本人ばかりでなく、ラオス人、スイス人、そして韓国人プレーヤーも加わっています。そんな縁から、3月9日にドンパラン私営コートで、日韓友好テニス大会が開催されました。

今回の友好大会は実施のわずか2週間前に話がまとまった関係で、日本人会への広報ができませんでした。次回には是非、広く日本人会のみなさんをお誘いしたいと思いません。

さて、当日は韓国側、日本側双方6名、計12名(6ペア)が、Aリーグ(韓国1ペア、日本2ペア)、Bリーグ(韓国2ペア、日本1ペア)に別れ、総当り戦を行いました。各リーグの1位は韓国ペアとなり、1位決定戦は韓国ペア同士で行われました。

今回は初対面のプレーヤーも多く、お互いのプレイスタイルは未知数でした。一見した限り、決して双方の技量に差があるとは思えませんでした。いつもの練習では和気あいあい、ゆったりとしたペースでプレイを楽しんでいる日本人勢は、強い打球でアタックしてくる韓国勢の攻勢に対し、粘り強く球を返しながらか力及ばず、敗退する試合が多かったのが印象的でした。

試合の結果はともかくとして、ひごろお手合わせできなかった韓国人プレーヤーと対戦することで、日本勢は新しいテクニックを体験することができました。一方韓国勢も、最高齢75歳の日本人プレーヤーの目を見張る元気な動きには驚かされたことでしょう。

試合終了後、韓国のメンバーが製造している豆腐が参加者にお土産として配られ、みなさん感激していました。お互いの今後の健闘を祈り、次回の開催を約して無事、友好テニス大会を終えることができました。

(本稿担当: 藤田昭雄、写真: 若林勝さん撮影)



写真: 酷暑の中、熱戦に取り組む日韓のプレーヤーたち

武道センター

ラオス・日本武道センターでは3月1日に日本大使館主催による毎年恒例の演武会が盛大に行われました。

ラオス政府からはソンプー教育スポーツ大臣補佐官兼国家五輪副委員長が臨席し開会の陣太鼓を打たれ、大統領府長官のポンサヴァット大臣は自ら激しい空手の演武を披露されました。日本側からは大使館の磯公使のラオス語での開会祝辞と JICA 武居所長の閉会陣太鼓打ちで演武会を一層引き締めていただきました。



Sea Games メダリストによるラオス柔連名物・創作『柔道ダンス』(パントマイム)

演武内容は剣道、柔道、合気道、空手道の順で合計250名の若武者、古武士が日頃の鍛錬の成果を披露。子供

達の明るく元気な演武、日本マスターズ柔道協会からの高段者による形の演技、青年たちの逞しい演武などが 300 名の観衆を魅了しました。大使館二元書記官によるスムーズな司会・進行と各部の説明者により演技内容が一般のラオスの方々にも良く理解できたようで今後の更なる普及が期待できそうです。



閉会後の全員集合写真、皆超明るいです！

ラオス・日本武道センターはアヌボンスタジアムの西隣という便利な場所にあり、教育スポーツ省から委託されたラオス柔道連盟(ケマサ会長)が運営の任に当たっています。各武道クラブが月-金の毎日夕方から、また土日は終日時間を分け合って稽古に励んでいます。特に柔道部はナショナルチームが当センターを本道場として昨年 12 月のミャンマーSEA Games に参戦、金メダル1個、銅メダル 3 個を持ち帰りました。今年は9月のアジア大会、12月のウドムサイでのラオス国体、インドネシアでの SEA ユニバシアードなどで武道館に集う若者が大いに活躍致します。皆さん熱烈な応援を頼みます。

ところで皆さん、武道と言うとキツイ、キケン、コワイとお思いでしょうが実は生涯スポーツとして心身共に素晴らしい効用が有るのです。大事な事は体力・年齢に合わせて無理せずに継続する事です。海外では特にストレス増、運動不足が最大の敵です。全身運動の武道で特に足腰と体幹を鍛えて、大いに汗をかいて美味しいビアラオで喉を潤す！ なんと幸せな人生でしょう！ 皆さん是非武道センターにいらして幸せな人生を共有しましょう。

坂東雅邦

ラオス・日本武道センター

日本人会のイベント

アジャレラネットワークでもご紹介してきたとおり、日本人会では 2013 年度に以下のイベントを開催し、会員・非会員の方々も含め、多数の参加をいただきました。

4 月 5 日(金)	定期総会
9 月 29 日(日)	遠足
11 月 9 日(土)	チャリティーバザー
12 月 7 日(土)	クリスマス会
1 月 10 日(金)	賀詞交換会(共催)
1 月 25 日(土)	お雑煮会(共催)

2014 年度も、新しい理事のもとでイベントを企画していきます。皆様のご意見をお待ちしています。



日本人会ゴルフ愛好会結果報告 (2013年12月～2014年3月 月例会の結果)

12/15 (第229回)	氏名(所属)	Out	In	Gross	H/C	Net
優勝	遠藤 隆 (ミドリセーフティーシューズ)	50	50	100	31	69
準優勝	山根 雄一(ナムニャップ1)	50	50	100	30	70
3位	鈴木 謙治 (LJTD)	44	46	90	12	78
ベストグロス:鈴木 謙治 90						

1/19 (第230回)	氏名(所属)	Out	In	Gross	H/C	Net
優勝	福島 紀彦(ナムニャップ1)	47	47	94	26	68
準優勝	山崎 泰弘(J-LATS)	42	47	89	20	69
3位	嶺井 南勝(ラオイゲトー)	48	42	90	18	72
ベストグロス:熊崎 隆一 88						

2/16 (第231回)	氏名(所属)	Out	In	Gross	H/C	Net
優勝	三輪 善紀(アイテルコ)	42	45	87	18	69
準優勝	美馬 巨人(JICA)	47	47	94	25	69
3位	鈴木 謙治 (LJTD)	48	43	91	18	73
ベストグロス:熊崎 隆一 85						

3/16 (第232回)	氏名(所属)	Out	In	Gross	H/C	Net
優勝	多田 隆司(ナムニャップ1)	46	47	93	24	69
準優勝	遠藤 隆 (ミドリセーフティーシューズ)	56	44	100	31	69
3位	山根 雄一(ナムニャップ1)	53	50	103	33	70
ベストグロス:野中 哲、鈴木 謙治 91						

楽しく、笑いながらプレーを楽しんだ後のビールも最高！スコアーも最高??

初心者の方も大歓迎です！！

日本人会ゴルフ愛好会では、皆様のご参加をお待ちしております。ぜひ、一緒にプレーして楽しいラオス生活を送りましょう。エントリー方法等がわからない方や質問がある方は下記の連絡先まで気軽にご連絡下さい。

連絡先: 日本人会ゴルフ愛好会

熊崎 隆一

賛助会員

賛助会員は日本人会の趣旨に賛同し運営にご協力いただいている企業です。

ここでは掲載を希望された賛助会員のロゴをご紹介します。(50音順)



株式会社 安藤・間



コマツ ビエンチャン事務所



マルハンジャパン銀行ラオス

会員投稿

会員からの投稿です。

ポンサリ現場歳時記
～雲の湧くところ～

自選 10 句

国境を見て折り返す暮の秋
秋深し海なき国で舟にのる
旅終へて月の都に戻りけり
山合ひの村の通りの小春かな
冬日和山には山の暮らしあり
老といふ国で迎へる初日出
適当に男所帯の雑煮かな
源流は中国の川冬の川
初旅やポンサリ雲の湧くところ
寒月やふるさと遠き男たち
(by 大矢通弘@安藤ハザマ)

編集部より

ラオス国日本人会会報誌「アジャレラネットワーク」では皆様からの投稿をお待ちしております。邦人の集まるクラブ活動やイベント紹介、ラオスでの暮らしに役立つ豆知識や耳より情報、不思議な体験や活動紹介など会員の皆様にも知って頂きたい投稿記事がありましたら是非御一報ください。

会報誌担当 中村敬一
マルハンジャパン銀行ラオス